



## 力強く生きる

副校長 片岡ひかり

保健室前の花壇が冬の花でにぎわっています。その中でひととき大きく成長しているのが菜の花です。実はこの菜の花の種は、保健室前の花壇には蒔いていません。11月のある日でした。いつものように、中休みに環境委員会の児童と一緒に雑草を抜いているときのことでした。雑草の中に見覚えのある草が…。

環境委員会の児童と相談ししばらく見守ることにしました。それからすくすくと成長し立派に花壇を彩っています。誰かの服に付いていた種でしょうか？それとも鳥の仕業でしょうか？いずれにしても力強くたくましく生きる菜の花に勇気をもらいます。



力強く生きるということで私が心に留めているのが次の言葉です。「この世に生を受けた人間は、脚が1本であれ2本であれ困難に立ち向かわねばならない。どう生まれたかではなく、どれだけ価値のある者になれるか。たくましくあれ、可能性を高めよ。」

これは、生まれつき片足のアメリカのレスリング選手で、2011年全米学生選手権で優勝を果たしたアンソニーロブレスさんの言葉です。私は、易きに流れなくなる時、この言葉を唱えて気持ちを奮い立たせてきました。彼の母の生き方も自分の道標にしていました。母は彼を強くするために、痛みから守ってくれなかったそうです。大学2年の時、母が病気になり家を失ったときでさえレスリングをやめることを許さなかったというから母の心の強さは折り紙つきです。未来を生き抜く子どもたちに力強さを育む大人としての責任を考えさせられます。

未来を生き抜く力は学校だけでは完結しません。学校、家庭、地域が三位一体となってチーム白根として育ていけるようにご理解・ご協力をお願いします。例えば、学校外でのトラブル（登下校時、公園等での遊び、LINE等）についてです。子どもたちが困っていることや悩んでいることなどについては学校でも担任を中心に聞き取っていますが、学校外のことなので見えない部分がたくさんあります。学校外でのトラブルについては各家庭でしっかりと話をさせていただきたいと思います。また、ご家庭同士の繋がりもとても大切です。顔の見える関係になることが子どものよりよい成長の一步です。チーム白根の一員としてあたたかく子どもたちを見守っていただけるようよろしくお願ひします。